

## 第2章 実証運行に係る事業の概要

南部地域で実施する実証運行事業の概要を以下に示す。

### 幹線、支線のバス実証運行

バス路線網再編実施計画に基づき、各地域において実証運行を行い本格運行に繋げる。

### 地域循環バスの導入

高齢化社会等の進展に伴い、各地域の実情に合った地域循環バスを導入し、生活交通の確保と利便性の向上を図る。

### 交通系ICカードシステム整備

交通系ICカードを導入し、各種公共交通の一体化と利便性の向上を図る。

### 乗継拠点整備 プラットホーム整備事業

幹線・支線に沿ったバス路線網の再編実施に伴い、各主要拠点間を結ぶ、乗継拠点（共通プラットホーム）の整備を行う。また、サイクルポートを設置して自転車との連携強化を図る。

### 効果的な広報戦略の展開

車両ラッピング、愛称募集、イベント等の開催により実証運行の周知、公共交通利用の啓発活動を行う。

### バスネットの設置

鳥取大学が開発したバスネットを公共施設（病院・市役所・観光施設等）に設置し、公共交通の利用促進を図る。

南部地域における実証運行のイメージ

□ 利用者の利便を徹底して追求

- ・ 「長大路線」から「幹線・支線」へ
  - ・ 幹線.....朝夕5分毎、日中10～15分毎、夜間30～60分毎に運行  
地方都市のモデル的な交通政策として、脱クルマによる低炭素地域づくりを目指す。
  - ・ 支線.....朝夕30分毎、日中は60分毎に運行
- 「幹線・支線」化による乗継ぎ発生に対する対応
  - ・ ICカード導入(乗継ぎ割引や上限運賃(例えば500円上限など)の導入)
  - ・ 乗継ぎ拠点の整備(幹線 支線の乗継ぎプラットホーム)
- 他の交通手段との組み合わせ利用の促進
  - ・ 停留所におけるサイクルポート(駐輪場)の整備
  - ・ 鉄道とのダイヤ調整

南部地域における実証運行のイメージ

